

命において目を覚ましており、奉仕において忠信である

聖書：マタイ 25:4, 9-10, 14-15, 20-23

I. 命のために、わたしたちは油、神の霊、神の満たしをさえ必要とします。それは、わたしたちが主の証しのために処女の命を生きることができるようになるためです——マタイ 25:4, 9-10：

A. 「その時、天の王国は、十人の処女が自分のともし火を持って、花婿を迎えに出て行くようなものである」——1節：

1. 処女は、命の面から見た信者を表徴します——Ⅱコリント 11:2。
2. 信者たちは、王国の民であり、貞節な処女のもようであって、暗い時代に主の証し（ともし火）を担い、世から出て行って主に会います。このために、彼女たちは聖霊の内住だけでなく聖霊の満たしも必要とします。
3. ともし火は信者たちの霊を表徴し（箴 20:27）、油としての神の霊を入れます（ローマ 8:16）：
  - a. 信者たちは彼らの霊の内側から、神の霊の光を輝かし出します。神聖な光が人の内なる各部分の中へと輝くために、油としての神の霊は、芯としての人の霊に浸透し（それとミングリングし——参照、16節）、人の霊と共に「燃え」なければなりません（12:11）。
  - b. こうして、信者たちは世の光となり、この時代の暗やみの中でともし火として輝き（マタイ 5:14-16. ピリピ 2:15-16）、主の証しを担って神の栄光を現します。
4. 思慮深い処女たちは、自分のともし火と共に、器に油を持っていました——マタイ 25:4：
  - a. 人は神のために造られた器であり（ローマ 9:21, 23-24）、人の人格は魂の中にあります。ですから、マタイ第25章4節の器は、信者たちの魂を表徴します。
  - b. 五人の思慮深い処女たちは、自分のともし火の中に油を持っているだけでなく、自分の器の中に油を取ります。彼女たちが自分のともし火の中に油を持つことは、彼女たちの霊の中に内住する神の霊を持つことであり（ローマ 8:9, 16）、彼女たちが自分の器の中に油を取ることは、神の霊が彼女たちの魂を満たし、それに浸透することを表徴します（参照、Ⅰペテロ 2:25. ヘブル 13:17）。
  - c. マタイ第25章9節の「買いなさい」という言葉は、代価が払われなければならないことを示しています。聖霊の満たしを持つことは、この世を放棄すること、自己を対処すること、すべてにまさって主を愛すること、キリストのゆえにすべての事柄を損失と勘定することなどの代価を必要とします。もしわたしたちが今日、代価を払わないなら、復活させられた後、代価を払わなければならないでしょう——参照、啓 3:18. Ⅱコリント 5:10。
  - d. わたしたちの緊急の必要は、手順を経た三一の神の究極的完成としてのその霊をさらに獲得すること、その霊の余分の分け前を買って、わたしたちの全存在

に浸透させる生活をする事です——マタイ 25:9. 参照、ダニエル 5:27。

B. 毎日わたしたちは目を覚まし、代価を払って金の油としてのその霊を買う必要があります。それは、わたしたちがイエスの証しのために召会をその霊で供給し、主から褒賞を受けて小羊の婚宴にあずかるためです——マタイ 25:9-10. 啓 3:18. ゼカリヤ 4:6, 12-14. 士 9:9 :

1. わたしたちはすべてにまさって主を愛し、わたしたちの目を開いて、彼の至高の尊さを見る必要があります——マタイ 22:37. ピリピ 3:8. I ペテロ 2:4, 6-7. 1:19。
2. わたしたちはキリストのゆえに、すべての事柄を損失と勘定する必要があります。それは、わたしたちが彼を獲得し、彼の中に見いだされ、彼を知るためです——ピリピ 3:7-10。
3. わたしたちは毎日、朝早く、御言の中の主を享受し、毎日の新しい開始を持つ必要があります——詩 119:147-148。
4. わたしたちは徹底的に罪を対処する必要があります——I ヨハネ 1:7, 9。
5. わたしたちは日ごと時間ごとに主との交わりの中に住む必要があります——6 節. II コリント 13:14。
6. わたしたちは自分の時を贖い取り、自分のエネルギーを費やして、神の聖なる御言で浸透され飽和される必要があります——II テモテ 3:16-17. コロサイ 3:16。
7. わたしたちは祈りの生活のために目を覚まし、警戒し、自分の時を贖い取って祈る必要があります——エペソ 6:18. ダニエル 6:10. コロサイ 4:2。
8. わたしたちはこれらの邪悪な日々の中で時を贖い取り、詩と詩歌と霊の歌とで語り合うことによって、すべての時にすべての事に対して主に感謝をささげることによって、キリストを畏れつつ互いに服従し合うことによって、霊の中で満たされる必要があります——エペソ 5:14-21。
9. わたしたちは腐った（有害で、不快で、価値のない）、腐敗した言葉を語ることによって、聖霊を悲しませるべきではありません。そうではなく、わたしたちは恵みの言葉を語って、聞く人たちに恵みを与えるべきです——4:29-30。
10. わたしたちはその霊を消すべきではありません。そうではなく、いつも喜んでおり、絶えず祈り、あらゆることで感謝すべきです。なぜなら、これがわたしたちに対する、キリスト・イエスにある神のみこころだからです——I テサロニケ 5:16-19。
11. わたしたちはミングリングされた霊にしたがって行き、行動し、振る舞い、事を行ない、存在する必要があります——ローマ 8:4. I コリント 6:17。
12. わたしたちは、キリストのからだの供給として、イエス・キリストの霊の満ちあふれる供給で満たされ、キリストを生きて彼を大きく表現する必要があります——ピリピ 1:19-21 前半. 詩第 133 篇. I テサロニケ 5:25。

II. 奉仕のため、働きのために、わたしたちはタラント、霊的な賜物を必要とします。それは、わたしたちが良い奴隷として装備されて、主が成し遂げようとしていることを成し遂げるためです——マタイ 25:20-23 :

A. 「天の王国は、ある人が外国へ行こうとして、自分の奴隷たちを呼び、彼らに自分の財産を渡すようなものである。彼はある者に五タラント、ほかの者に二タラント、

ほかの者に一タラントを、それぞれの能力にしたがって与えた。そして彼は外国へ出かけた」—— 14-15 節：

1. 奴隷は、奉仕の面から見た信者を表徴します—— I コリント 7:22-23. II ペテロ 1:1. ローマ 1:1.
  2. 「自分の財産」が表徴するのは召会（エペソ 1:18）とすべての信者たちであり、彼らは神の家族を構成します（マタイ 24:45）。
  3. タラントは霊的な賜物を表徴します（25:15-23. ローマ 12:6. I コリント 12:4. I ペテロ 4:10. II テモテ 1:6-7）。命においてその霊に満ちることは、わたしたちが奉仕（働き）において霊的な賜物を用いることができるようにし、奉仕における霊的な賜物は、命においてその霊に満ちることに符合し、それはわたしたちがキリストの成就された肢体となるためです。
  4. 「あなたの主人の喜び」は、主に対するわたしたちの忠信な奉仕に対する褒賞としての、来たるべき王国における主に対する享受を表徴します（マタイ 25:21, 23）。これが指しているのは内側の満足であって、外側の地位ではありません。主の喜びにあずかることは最大の褒賞であって、来たるべき王国における栄光や地位よりすばらしいのです。
  5. この時代に、わたしたちは主の賜物を用いて人々を救い、彼の豊富を彼らに供給しなければなりません—— 27 節。
- B. 主に仕えることでのわたしたちの内側の動機は、彼に対するわたしたちの愛です——出 21:5. 啓 2:4-5。
- C. わたしたちが主に仕えることは常に、祝福の源としての彼から出て、手段と力としての彼を通し、彼の栄光のために彼に帰すべきです——ローマ 11:36. 参照、民 18:1。
- D. わたしたちは自分の全存在をもって、神のみこころにしたがい、からだの肢体と協力することによって、主に仕える必要があります——ローマ 12:1-2, 11. 使徒 13:36. I コリント 12:14-21。
- E. わたしたちはキリストをもって他の人に仕え、恵みとしてのキリストを彼らに供給することによって、主の賜物を用いて召会を建造する必要があります——マタイ 25:27. I ペテロ 4:10. コロサイ 1:7. 4:12：
1. わたしたちは神の福音の労苦する祭司として仕え、罪人を救って彼らを受け入れられる犠牲として神にささげ、最終的にキリストの中で完全に成長した彼らをささげる必要があります——ローマ 15:16. 12:1. コロサイ 1:28。
  2. わたしたちは時に応じて霊的な食物としてのキリストをもって他の人を供給する必要があります——マタイ 24:45：
    - a. わたしたちは日ごとに、時が良くても悪くても、キリストをすべての種類の人々に語る必要があります——使徒 5:42. 8:4. II テモテ 4:2。
    - b. わたしたちは真剣に努力して、どの集会でも語る習慣を建て上げる必要があります——I コリント 14:26, 4-5, 12, 31。
  3. わたしたちは、わたしたちの父なる神の愛し赦す心と、わたしたちの救い主キリストの牧養し捜す霊をもって、人々を顧みる必要があります。愛は、キリストの

- からだを建造するために、わたしたちが何であっても何を行なっても、最も卓越した道です——ヨハネ 21:15-17. I コリント 12:31 後半. 13:4-8, 13。
4. わたしたちは、仲間の信者たちを批判し、裁き、暴露することによって、彼らを虐待すべきではありません。そうではなく、気ままな者を諭し、小心な者を慰め、霊、魂、体において弱く、あるいは信仰において弱い者を支え、すべての人に対して辛抱強くあるべきです——マタイ 24:49. I テサロニケ 5:14。
  5. わたしたちはこの世とかかわることを通して、主の賜物を無価値なものとし、ある地的な言い訳の下にそれを無駄にすべきではありません——マタイ 25:18-19。
- F. 福音における主のためのわたしたちの働きと労苦は、わたしたちの天然の命や天然の能力によるのではなく、主の復活の命と力によります。復活は、神に対するわたしたちの奉仕における永遠の原則です——民 17:8. I コリント 15:10, 58. 16:10 :
1. 命を与える霊は、三一の神の実際、復活の実際、キリストのからだの実際です——ヨハネ 16:13-15. 20:22. I コリント 15:45 後半. エペソ 4:4。
  2. 復活を知っている人はみな、自分自身における望みを放棄しています。彼らはそれができないことを知っています。死のものはすべてわたしたちに属し、命のものはすべて主に属します——民 17:8. II コリント 1:8-9. 参照、伝 9:4。
  3. わたしたちは、自分が無であり、何も持たず、何もできないことを認めなければなりません。わたしたちは自分自身が終わり、完全に無益であることを納得しなければなりません——出 2:14-15. 3:14-15. ルカ 22:32-33. I ペテロ 5:5-6。
  4. 命を与える霊としての復活したキリストがわたしたちの中に生きて、わたしたちが自分では決してできなかったことをできるようにします——I コリント 15:10. II コリント 1:8-9, 12. 4:7-18。
- G. わたしたちはいつも主の働きに満ちあふれており、復活の命における、復活の力による主のためのわたしたちの労苦は決して無駄になることはなく、神の永遠の定められた御旨を完成するという結果になることを、知るべきです——I コリント 15:58。